

「越前市教育振興ビジョン(改定素案)」に関するパブリック・コメント実施結果

案件名	越前市教育振興ビジョン（改定素案）						
実施期間	平成 26 年 12 月 15 日(月) ～ 平成 27 年 1 月 15 日(木)						
趣旨	平成 26 年度末で計画期間が満了する教育振興ビジョンについて、同ビジョン策定以降における各種計画の策定や福井国体の開催、いじめ防止推進法の成立などの社会情勢の変化に的確に対応するために、計画の最終年度となる 26 年度において越前市教育ビジョンを改定し、教育行政の計画的かつ効果的な推進を図ります。						
意見提出者数	4 人 (9 件)						
		40 代	50 代	60 代	70 代	未記入	合計
	男 性	1			1	1	3
	女 性			1			1
	未記入						
合 計	1		1	1	1	4	
意見に対する回答	以下のとおり						

意見の内容等

No	年齢 性別	該当する箇所	意見の要旨	越前市の回答
1	70 代 男 性	第 1 部 I 教育振興ビジョン 改定の趣旨	「基本的な計画を定めるため平成 23 年に策定 …」は、「平成 22 年」に訂正してください。	「平成 23 年に策定」を「平成 22 年 3 月に策定」に訂正します。
		第 2 部 II-1-(3) 生涯学習施設の 整備	「また、自治振興会をはじめとした様々なコミュニティの活動拠点となっており、地域自治の拠点としてのウエイトも高まっています。」段落改行後には、主語をいれるべきではないですか。	「また、地区公民館は、自治振興会をはじめとした様々なコミュニティの活動拠点となっており、地域自治の拠点としてのウエイトも高まっています。」に訂正します。
		第 2 部 II-1-(4) 読書のまちづくり の推進	「高齢化の進行により図書館に来ることが困難な市民も増加しています。そのため …」の「そのため」以下の文章に、来ることが困難な市民の対策が述べられていないと思うのですがどうですか。	来ることが困難な市民の対応につきましては、28 ページの「エ 出かける図書館の実施」中で述べさせていただいております。
		第 2 部 III-2-(1) 郷土の歴史を尊重 する心の育成	「子どものころから郷土の歴史・文化の理解を深めることができるように、学校教育…」の部分について、以前から地域ミーティング等において、武生市時代に小学校 4 年生時に児童に配付されていた社会科の副読本を早急に作成すべきだ	小学校 3 年生では、社会科副読本「わたしたちの越前市」を児童に配付し、本市の文化財や年中行事、本市の歩みなどを学習しています。 また、本市の歴史についてわかりやすくまとめた「越前市歴史人物ガイド 歴史と人」を平成 25 年度に

			<p>とってきました。未だ作成されていないようですが、副読本なしで授業ができるとお考えですか。</p>	<p>発行しました。人物を中心にして本市の歴史を概観できるコンパクトな構成で、ふりがなでルビを振るなど小・中学校の歴史学習等で活用しやすい資料となっていますので、郷土の歴史・文化の理解を深める学習に活用しているところです。</p>
		<p>第2部 Ⅲ-2-(1) 郷土の歴史を尊重する心の育成</p>	<p>「学校教育や生涯学習、地域などと連携を図るとともに、…」の部分について、生涯学習は、学校教育も含むものなので、ここは学校教育や家庭教育、社会教育等とすべきと思います。</p>	<p>「学校教育や生涯学習、地域などと連携を図るとともに、…」を「学校や地域の団体などと連携し、…」に訂正します。</p>
		<p>ビジョン全般</p>	<p>「地域」という言葉があちこちに出てきますが、「地域」とは「ある範囲の土地」であり表現として不適当だと思います。例えば、「地域社会」とかすべきではないですか。</p>	<p>この教育振興ビジョンにおける「地域」は、小中学校の校区を意味し、「地域の人々との交流」、「地域人材の活用」、などの表現として用いています。</p>
2	40代男性	<p>第2部 Ⅲ-1-(1) 芸術・文化活動の支援</p>	<p>文化センター中ホールについて、老朽化により廃止という突然の話ですが、中ホールに代わる施設や機能はどうするのかの議論が先ではないかと考えます。中央公園一帯の文化拠点ゾーンに、ぜひ市民や子どもたちが利用しやすい500人規模のホール再整備を検討すべきと考えます。「誇れる歴史、芸術文化の創造」を掲げている越前市の英断に期待します。</p>	<p>本市は、多くの公共施設を有しており、市全体での公共施設のあり方を検討する中、文化センター中ホールについては、築後53年が経過し、耐震性もないことから、27年11月末に廃止することにいたしました。</p> <p>今後は、既存施設のいまだて芸術館や文化センター大・小ホールをご利用いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、新庁舎建設基本構想・基本計画の策定においても、パブリックコメント等を実施する中で、ご意見を踏まえて新庁舎の機能を総合的に検討してまいります。</p>
3	未記入男性	<p>子どもの教育と市の活性化のために</p>	<p>『教育都市』を宣言して市民の意識を高め、地域社会との結びつきを重視した教育を実施していくことにより、未来の越前市を担う人づくりが期待できます。</p> <p>企業との連携で地域産業について学ぶ機会を多く持ち、その良さを学び、地元企業への自信と信頼を持ってもらえる体験学習など、地域と地元の産業への親しみが育まれる学習活動を多く実施してください。小学校、中学校から高等学校まで繰り返し体験を重ねることで、優秀な人材が地元に残ることと思います。</p>	<p>本市では、地元企業のご協力を得て「モノづくり出前講座」を開講しています。先端産業から伝統産業まで、多様な業種から講師を派遣していただき、モノづくりに対する情熱や技術のすばらしさを教わります。子ども達のモノづくりに対する情熱や創造・チャレンジへの意欲を喚起するとともに、地元企業について理解を深める機会となっております。平成26年度は14小学校で15講座を開講しています。</p> <p>また、地元企業、福井高専のご協力を得て、毎年中学生ロボットコン</p>

			<p>次に、企業と関係者で組織づくり、仕組みを作って進めてはいかがでしょうか。市内の優秀企業はもちろんのこと、和紙や打刃物、木工から継体天皇まで匠、歴史、文化をも踏まえてしっかりとつながりをもった地域社会教育の仕組みを作ってほしいと思います。</p> <p>また、生活環境の違う地域間の交流事業を行うことも重要なのではないのでしょうか。市街地と農村部、または海岸地域などと交流による社会性の向上が求められていると思います。これからも越前市に住みたくなる施策を、住みたくなる仕掛けや教育を積極的に実施してほしいと思います。</p>	<p>テストを開催しています。平成26年度は47チーム113名が参加し、内3チームは、県大会、東海北陸大会を勝ち抜き、全国中学生創造ものづくり教育フェアに出場予定です。</p> <p>小学校3年生では、市独自の冊子「わたしたちの越前市」を用いて、市内各地域の人々の生活や産業、文化財、年中行事等を学びます。小学校6年生では、自らが和紙を漉いて卒業証書を作成し、伝統産業への関心を高めています。</p> <p>また、中学校においても、さまざまな教科等で地域学習が継続されますが、地域の方、地元の企業との結びつきを活かして、今後も充実したふるさと教育を実施していきます。</p>
4	60代女性	第2部 II-1-(4) 読書のまちづくりの推進	<p>「出かける図書館」について、スーパー、ショッピングセンター、各種イベントにもぜひ出かけてほしいです。</p>	<p>「出かける図書館」は、図書館へ来ることが困難な市民のために、図書の管理をお願いできる福祉施設や事業所等の団体に貸出を行っております。図書の管理をお願いできる事業所や団体からのお申し出には、前向きに対応させていただきます。</p>